


⑦内子町(C12231)

SL静態保存活動調査表(1/2)

SL名称	保存場所	保存開始年月	保存団体	保存活動内容		活動団体		SL活躍の主線区	記事
				作業	回数	代表者	活動数		
C12形式 C12231 S14.9.12 日本車両 製造	内子町 内子小学校 ↓ JR内子駅前	s45.9 (1970/9)	内子町	h22.7 さび止め塗装		松山運転所乗務員OB の有志 (現在活動停止中)		小牛田機関区 長町機関区 会津若松機関区 宇和島機関区等 石巻線、仙石線 盤城東・西線、 内子線 s45.5退役 全走行キロ (1,209,334キロ)	・s45.3.31内子線お別 れ運転  ・現地写真添付
保存の由来				由緒					
<p>・内子線は大正9年5月1日開業以来、内子地方の経済開発に貢献し、かつては木材、木炭、鉱石など年間数万トンの貨物を輸送していたが、最近の経済並びに輸送動向の変化に伴い逐年減少の一途をたどり昭和45年3月末日をもって貨物の取り扱いを停止することになった。</p> <p>従って、最後までこの線区を走り続けたC12形式蒸気機関車は勿論、ディーゼル機関車も含め内子線では機関車の姿は見られなくなり内子町民にとっては過去の繁栄を偲び懐かしさとともにこの蒸気機関車に限りない愛着を覚えているものである。永年に亘って国鉄の輸送に積極的に協力してきた内子町にこの云われ深いC12形式を保存し、小中学生並びに一般町民の社会教育に資するものである。</p> <p>・保存状態：荒廃気味。 ・屋根なし。腐食箇所多数。</p>				<p>・重量50tの軽軸重タンク機関車。この機は東北地区の支線で長く活躍し、最後に四国入りして内子線で活躍していたが、間もなく廃車になりこの地の小学校校庭に保存されることになった。</p> <p>・JR内子駅より徒歩2分</p>					
				<p>・地図</p> 					

⑦内子町(C12231)

SL静態保存活動調査表(2/2)

現姿その他



上段: 現姿 h25.1.17



下段右・中央 s57.1

下段左 保存当時

